

大島養護学校経営デザイン

校訓

明るく

強く

豊かに

学校教育目標

児童生徒一人一人の特性等に応じた教育を行い、良さや可能性を伸ばし、将来の自立と社会参加に向けての力を身に付け、心豊かにたくましく生きる人間を育成する。

目指す学校像

- 楽しく生き生き学び、過ごせる学校
- 良さや可能性、力を精一杯発揮できる学校
- 保護者・地域と力を合わせた元気のある学校

保護者による学校評価により、評価を行い、次年度にむけて改善を行う。

学校経営方針

- (1)公教育の基盤に立ち、人権尊重の教育のもと、教育公務員としての責任を自覚し、業務改善、教職員相互の信頼と協力により、教育目標の達成を図る。
- (2)新学習指導要領における育成を目指す「資質・能力」の3つの柱を踏まえ、地域や社会のニーズをとらえた一貫性のある教育課程の編成を努める。
- (3)保健、衛生及び安全管理の徹底を図り、児童生徒が安心して学べる教育環境を整備する。
- (4)児童生徒の的確な実態把握と分析による適切な個別の指導計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応える指導の充実を図る。
- (5)大島地区唯一の特別支援学校として、インクルーシブ教育システムの構築に向け、地区内における特別支援教育のセンター的機能を充実させるとともに、本校の教育活動の理解・啓発に努める。
- (6)家庭や児童福祉施設、近隣の幼・保・小・中・高等学校、地域社会及び関係機関との協力・連携を密にし、教育効果の向上と指導・支援の共有化を図る。

目指す教師像

- 安心・安全な教育環境をつくり、児童生徒に寄り添い共感的関係を築く教師
- 研修に励み、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育を探究し続ける教師
- 協調と和を大事にし、教育公務員としての職責を果たし、信頼される教師。

学校評価（自己評価）による評価

学校経営方針と関連付けながら学校評価において評価を行う。

重点取組事項

(1)児童生徒の実態や特性等を踏まえた適切な教育の追究 ・ 目指す資質・能力を踏まえた教育課程編成及び「個別の指導計画」を活用した授業づくりの推進 ・ 児童生徒の良さや可能性を引き出す指導方法や指導技術の工夫・改善	(2)安心・安全で働きやすい教育環境・職場環境の改善・整備 ・ 教室や学習の場の整理整頓及び安全管理の徹底・改善 ・ 有効な時間活用及び協働推進による効率的な業務推進	(3)児童生徒自らの気づき・学び・解決を促す進路指導の充実 ・ 可能性を拓く取組や進路先からの課題による指導内容・指導方法の見直し ・ 進路に関する自己選択・自己解決につながる取組の充実	(4)児童生徒の肥満予防の取組 ・ 運動の機会の充実と習慣化の推進。 ・ 食に関する指導、歯磨き指導など家庭と連携した取組	(5)特別支援教育のセンター的機能の充実 ・ 中学校から高等部及び高等学校への学びの連続性の強化 ・ ホームページ等による本校教育活動の更なる理解・啓発
---	---	---	---	--

目指す児童生徒像（育成を目指す資質・能力）

- 将来の自立をめざし、学習や生活に活用できる力を身に付けている児童生徒
- 良さや可能性を伸ばしながら、自分を存分に発揮する児童生徒
- 周りの人やものとかかわり、積極的に社会に参加する児童生徒

個別の指導計画の重点目標を目指す児童生徒像の各項目を立て、評価を行う。

キャリア教育

将来の自立や社会参加に向けて、児童生徒一人一人の特性等に応じた進路指導を行い、他者とのコミュニケーション能力や課題解決に主体的に取り組む力、また働くことや将来について考える力を育むことで、適切な進路選択・進路決定が実現できるようにする。

性に関する指導

・ 日常生活の基礎的・基本的事項について身に付けるとともに、自己の性についての認識や他人への認識を深める。
・ 心身の発育・発達に応じて、社会性や男女の豊かな人間関係を育て、生命の尊さに気づき、将来を積極的に生きていこうとする意欲や態度を育てる。

人権同和教育

・ 人間尊重の精神に基づき、豊かな心を持ち、互いのよさを認め合い、一緒に助け合い、共に伸びる、具体的な態度として行動できる児童生徒を育てる。
・ 全教育活動を通じて命を大切にするとともに、児童生徒一人一人の発達段階や特性等に応じて指導を行う。

つけたい力

- 生活に必要な基礎的能力・態度
- 学習や生活場面での課題を見付け解決の方法を考える力
- 自分の力を活かして学習や生活場面での課題を解決できる力

- 自分のことや良さに気づく力
- 自分の良さや可能性を伸ばそうとする力
- 自分の良さや可能性を発揮できる力

- 人やものに働き掛けようとする力
- 主体的に行動する力
- 協力したり協働したりする力

習熟料等

各教科等、領域ごとに育成を目指す資質、能力が身に付けられるよう3つの柱に沿って目標を立て、学習内容を検討しその都度評価を行いながら改善を図っていく。

道徳教育

・ 望ましい生活習慣や善悪の判断を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。
・ 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとり、他の人々に対し思いやりの心をもつ。
・ 生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重する。
・ 勤労の尊さや意義を理解し、自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。

食に関する指導

・ 食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解をする。
・ 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
・ 正しい知識・情報に基づいて、植物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。
・ 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心を育む。
・ 食事のマナーや食物を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
・ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。